

# 2021 AUTOBACS SUPER GT Round 3 FUJIMAKI GROUP SUZUKA GT 300km RACE

2021年8月22日(日)

## 決勝 レポート

52 Laps



場所: 鈴鹿サーキット (三重県) 1周 5,807m 観客動員数: 制限付開催 11,500人

天候: 曇り | コース: ドライ | 気温/路面温度 開始: 31℃/43℃ > 中盤: 30℃/35℃ > 終盤: 29℃/35℃

### 10位でレースを終える

2021年 SUPER GT 第3戦の決勝が鈴鹿サーキット(三重県)で行われた。昨日より曇も少なく暑い真夏の日となった。

8月22日(日)

<決勝 52LAPS / 14:30~>

スタートは山内英輝が受け持つ。山内はスタートでポールショットを決め、後続を引き離す展開となるが、5周目に500クラスのクラッシュによってセーフティーカーが導入される。12周目に再スタートになるが、一度冷えたタイヤのグリップが回復せずペースが上がらない。21周目にピットイン、リアタイヤ2本交換及び給油、山内から井口卓人に代わり、実質4位でコースに戻る。井口も前後バラ



www.rdsport.net

スに苦しみ、結果 10 位でレースを終える。なお、GT500クラスの優勝は#23 MOTUL AUTECH GT-Rが、GT300クラスは#244 たかのこの湯 GR Supra GT が制した。



#### ■本島監督 コメント



予選ではSUBARU BRZのパフォーマンスをあれだけ引き出せたのに、レースでは全く期待に応えることが出来ませんでした。問題点を再度洗い出し次戦菅生に臨みます。#61 SUBARU BRZ R&D SPORT を応援して下さったファンの皆様、本当にありがとうございました。

#### ■井口 卓人 コメント



決勝レースはタイヤの状況も厳しく、最後はコースに留まることすら難しい状況で本当に苦しいレースでした。予選の結果が良かっただけに落胆も大きいです。新型 BRZ になって予選での速さはあるものの、決勝での安定性が課題になっています。後半戦に向けて、その部分をしっかりと詰めていき、予選も決勝も速い車作りを出来るようにチームと共に考えていきたいと思えます。諦めずに頑張っていきます。

#### ■山内 英輝 コメント



練習走行からマシンのバランスも良く、今シーズン2回目のポールポジションを取る事ができました。チームメイトの井口選手とも長くコンビを組んでいるからこそ、マシンの好み度合いなどもわかり合っていて、Q1後の井口選手の的確なコメントと、Q2にかけてのセットのアジャストのおかげで、良い状態で Q2に挑む事が出来ました。本当にチームで掴んだポールポジションでした。ただ決勝は、その速さを持続出来ず苦しみました。今後の課題です。次戦の菅生までに、オートポリテストがあるので、そこで原因を見つけられるように頑張っており組んでいきたいと思えます。

決勝の詳細に関しては SUPER GTホームページ <https://supergt.net/>、  
またSUBARUモータースポーツマガジン <https://www.subaru-msm.com/2021/sgt/report/>もご覧ください

2021年8月22日  
アールアンドデースポーツ  
<http://www.rdsport.net/>



[www.rdsport.net](http://www.rdsport.net)